

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 生産システム工学コース

准教授

三隅 雅彦

取組状況	
教育	<p>1. インダストリアルデザイン 4、5年生の2年連続した授業を初めて行った。授業では、工学とデザインの関連の重要性と、現在のデザインに至る歴史的なもの(デザイン史など)に焦点を当てて進めた。期末試験の結果のみを見れば及第点の理解度と判断できるが、デザイン教育(座学系)とデザイナー教育(実技系)の違いがわからない学生にとっては、退屈な授業のようである。 HPのアクセスやデザイン情報への問い合わせは、極めて少数であった。</p> <p>2. 3Dプリンタの活用と切削加工 目標とした3Dプリンタの本稼動は概ね達成でき、学生が自由にプリントできる環境が整いつつある。ただ、個体差や経験知による出力設定は残っており、プリントには教員が付き添わなければならない状況は、今後も続くと思われる。 デザインと金属加工の融合による作品作りのために、旋盤の実習体験を行った。検定を前提とした実習のため若干イメージとは違ったが、可能性を実感することができた。</p>
研究	
社会貢献	<p>1. 若手技術者支援講座, デジタルマニュファクチャリング体験講座, 2016年12月19日・21日 2. 技術指導, 有限会社志田工務所(3Dプリンタによる鋳造型試作) 2016年7月～10月 3. 技術指導, センタック株式会社(照明機器デザイン) 2017年1月</p>